

- 問1 「お金に余裕がある人」が銀行へ預金し、銀行が「お金を必要としている企業」へ貸し付けを行う経済活動において、利子の関係について述べた次の文のうち、正しいものはどれですか。（2022年 高知県公立入試 類似）
1. 預金利子と貸出利子は法律によって同額に定められており、銀行は手数料のみで利益を得る。
 2. 景気を刺激するために、銀行は預金利子を貸出利子よりも高く設定するのが一般的である。
 3. 銀行の利益を確保するため、貸出利子は預金利子よりも高く設定される。
 4. 借り手が銀行に支払う貸出利子は、銀行が預金者に支払う預金利子よりも常に低く抑えられている。
- 問2 不景気の際に日本銀行が行う金融政策のうち、一般の銀行から国債などを買い取る「買いオペレーション」の目的と仕組みを説明したものとして、最も適切なものはどれですか。（2023年 兵庫県公立入試 類似）
1. 銀行が保有する資金量を減らし、貸し出し金利を上げることで、過剰な消費を抑える。
 2. 銀行が保有する資金量を減らし、市場の通貨流通量を制限することで、物価の上昇を抑える。
 3. 銀行が保有する資金量を増やし、預金金利を上げることで、個人の貯蓄を促進する。
 4. 銀行が保有する資金量を増やし、貸し出し金利を下げることで、企業への融資を促す。
- 問3 企業が株式や債券を発行し、証券会社などを仲介役として、家計などの投資家から直接資金を調達する金融の仕組みを何といいますか。（2025年 岡山県公立入試 類似）
1. 直接金融
 2. 公開市場操作
 3. 間接金融
 4. 預金通貨
- 問4 1980年代後半から日本で発生したバブル経済の特徴について、その背景と内容を説明した文として最も適切なものはどれですか。（2025年 島根県公立入試 類似）
1. 投機目的の資金が流入したことで、土地や株式の価格が経済の実態を超えて急騰した。
 2. 石油の供給不足により物価が激しく上昇し、戦後初めて実質経済成長率がマイナスになった。
 3. 重化学工業の発展を背景に、10年以上にわたって年平均10%前後の高い経済成長を維持した。
 4. 長引く不況により物価が継続的に下落し、企業の倒産や失業者の増加が社会問題となった。
- 問5 景気が悪化している局面において、市場に流通するお金の量を増やして景気を刺激するために、日本銀行が行う金融政策の内容として最も適切なものはどれですか。（2020年 大阪府公立入試 類似）
1. 金融庁が各銀行に対して、企業への貸し出しを厳格に制限するよう命令を出す。
 2. 日本銀行が市中銀行に対して国債を売却し、市場から資金を吸い上げる。
 3. 財務省が所得税などの増税を決定し、家計の消費を抑制させる。
 4. 日本銀行が市中銀行から国債を買い入れ、代金を支払うことで市場の資金を増やす。
- 問6 日本銀行が「銀行の銀行」としての役割を果たす具体的な仕組みについて、最も適切な説明を選びなさい。（2017年 長崎県公立入試 類似）
1. 税金の納付を受け付けたり、公共事業の費用を政府に代わって支払ったりする仕組み。
 2. 個人や企業から直接預金を集め、それを原資として住宅ローンなどの貸し出しを行う仕組み。
 3. 一般の銀行の資金が不足した際に融資を行い、金融システムの混乱や連鎖的な倒産を防ぐ仕組み。
 4. 日本で唯一の紙幣（日本銀行券）を発行し、市場に流通する貨幣の量を調整する仕組み。
- 問7 中央銀行は、通貨の供給量を調節することで物価の安定を図ります。景気が過熱し、物価が上がりすぎると判断された際、日本銀行が市場の通貨量を減らすために行う適切な操作はどれですか。（2017年 静岡県公立入試 類似）
1. 公共事業を増やして市場にお金を流す
 2. 市中銀行から国債を買い取る
 3. 減税を実施して家計の消費を増やす
 4. 保有する国債を市中銀行に売却する
- 問8 金融の仕組みにおいて、銀行を通じた融資（間接金融）と比較した際の「直接金融」の特徴を説明したものとして、最も適切なものはどれですか。（2018年 長崎県公立入試 類似）
1. 銀行が倒産した場合でも、企業への資金供給が止まらない仕組みである。
 2. 企業が株式や債券を発行し、証券市場を通じて投資家から直接資金を調達する仕組みである。
 3. 投資家が銀行に預けた預金が、銀行の判断によって特定の企業へ貸し出される仕組みである。
 4. 政府が税金として集めた資金を、公共事業のために特定の企業へ配分する仕組みである。
- 問9 銀行などの金融機関と家計との関係において、家計が将来の備えなどのために銀行へお金を預けることを「預金」といいます。これに対し、家計が住宅の購入などのために銀行から資金を借り入れた際、借りた元の金額（元金）に、あらかじめ決められた利率に応じた利子を加えて、最終的に銀行へ支払う合計金額のことを何といいますか。（2025年 京都府公立入試 類似）
1. 元金
 2. 配当金
 3. 預金残高
 4. 返済総額
- 問10 銀行は、企業への貸し出しで受け取る利子を、預金者へ支払う利子よりも高く設定しています。このような利子の設定によって得られる利益（利ざや）の主な目的として、正しいものはどれですか。（2022年 熊本県公立入試 類似）
1. 日本銀行から借り入れた資金を、利子をつけて全額返済するための原資にするため。
 2. 銀行の店舗運営費や人件費をまかない、企業の利益として確保するため。
 3. 預金者が将来受け取るはずの利子を、政府が税金として回収しやすくするため。
 4. 景気が過熱した際に、企業が資金を借りすぎないように、市場の通貨量を調整するため。
- 問11 現代の経済における資金の調達方法のうち、「直接金融」の仕組みを説明したものとして最も適切なものはどれか。（2024年 石川県公立入試 類似）
1. 政府が国債を発行し、公共事業を行うための資金を調達する。
 2. 銀行などの金融機関が、預金者から預かった資金を企業に貸し出す。
 3. 企業が株式や社債を発行し、投資家から直接資金を調達する。
 4. 日本銀行が市中の金融機関と国債などを売買し、通貨量を調整する。
- 問12 銀行などの金融機関が、家計（個人）から預かった資金を企業などに貸し出す際、受け取る利子（金利）と預金者に支払う利子の関係として、最も適切な説明はどれですか。（2022年 熊本県公立入試 類似）
1. 貸し出す際の利子の方が、預金者に支払う利子よりも低く設定されている。
 2. 貸し出す際の利子の方が、預金者に支払う利子よりも高く設定されている。
 3. 貸し出す際の利子と預金者に支払う利子は、常に同額になるよう国によって指定されている。
 4. 景気が悪化したときのみ、預金者に支払う利子の方が高くなるように設定される。
- 問13 途上国の貧困対策として行われる「マイクロクレジット」の仕組みについて、その目的や背景を説明したものとして最も適切なものはどれですか。（2026年 栃木県公立入試 類似）
1. 発展途上国の農産物や工芸品を適正な価格で継続的に購入することで、生産者の生活水準の向上を図る。
 2. 返済義務のある少額融資を行うことで、借り手の勤労意欲や経営意識を高め、持続的な自立を支援する。
 3. 契約後の一定期間内であれば消費者が一方向的に契約を解除できる権利を認め、不当な契約から人々を守る。
 4. 最新の情報通信技術を活用して送金や決済の効率化を図り、誰もが安価に金融サービスを利用できるようにする。